

2023年12月13日

「岸田内閣不信任決議案」 賛成討論

立憲民主党・無所属 神津たけし

私は立憲民主党・無所属を代表して、ただいま議題となりました岸田内閣不信任決議案に「賛成」の立場から討論いたします。

自民党における「パーティー収入裏金事件」により、国民の内閣に対する信頼は完全に失墜しました。リクルート事件の反省のもと、「派閥を解消する。」としていた自民党はどこに行ったのか。金のチカラで動く政治は変えるべきではないでしょうか。

松野官房長官、西村経産大臣をはじめ、安倍派の所属議員の大半が裏金を受領し、岸田総理の岸田派でもパーティー収入の過少記載が明るみになっています。

裏金づくりは、政治資金規正法違反であり、脱税行為にもなりえます。「異次元のキックバック」は、国民は誰一人として納得しないのではないのでしょうか。岸田総理、「パーティーを当面の間自粛する」程度では、国民は到底納得できません。

今この議場に、脱税した議員や前回の選挙戦で汚れたお金によって当選した議員がいるのであれば、その方は、自らの出处進退を判断すべき時ではないでしょうか。

【与党が勝たないと何も進まない。予算が配分されない。】

近年の選挙戦では「与党が勝たないと何も進まない。予算が配分されない。」と、演説で言う方が多い。官僚の皆さんは、高い意識のもと、予算配分を公平公正な観点から行っています。

ただ、今回のことで、なぜそんなことを言う方がいるのか理解しました。「自民党が勝たないと予算が地元に配分されない。何も進まない。」を合言葉に、業界団体や企業から金集めを行っていたのだと理解いたしました。

権力を盾に皆さんが行っている金権政治について、国民に胸を張って説明できますか。

違法な裏金のチカラで、安倍派を中心に自民は、日本の政治を牛耳ってきました。「予算配分は金次第、政策も金次第」の自民党政治、岸田政権は内閣総辞職すべきです。

#### 【岸田総理の最初の頃】

岸田総理は政権発足当初、「新しい資本主義で所得倍増を実現する。」と掲げていました。しかし、新しい資本主義で国民所得は倍増したのでしょうか。国民所得が倍増する気配は**みじんもない**、というのが今の国民の実感です。

物価高以上に賃金が上昇したのは、ごく一部の企業のみです。物価高の中で生活必需品や食料は値段が跳ね上がり、買い控えをせざるを得ないという方に寄り添えていますか。

国民生活が苦しい中での防衛増税。差し迫る脅威に対応していく意義や必要性は私たちも同意します。しかし、**国民が物価高で苦しんでいるなか、「国民は増税、自民は脱税」では、国民が納得しません。**岸田総理、頷いてお答えください。「防衛増税は撤回でいいですよ。」（首を振られた残念です。）

#### 【業界団体との金権政治による癒着】

今回の問題は、パーティー券を買ってくれるような業界団体や大企業ばかりを優遇し、「**誰のために政治が行われるべきか**」を忘れてしまったために起きているのではないのでしょうか。

そもそも利益を追求する企業が、なぜ特定の政党に寄付をするのか。それは献金をした大企業や業界団体に都合の良い政策を実施するからです。

この30年以上、法人税減税が行われています。全体的な歳入をみれば、法人税の減収分は消費増税で賄って来ました。すなわち、大企業や業界団体の負担を減らし、国民負担を増やして来た。**業界団体や大企業迎合の政治を行って来たツケを国民に支払わせているのは明確ではない**のでしょうか。

自民党に近い団体や業界を優遇し、国民を忘れ、政策をカネで売り買いするような金まみれの金権政治はもうやめるべきではないのでしょうか。

【脱税議員の大臣・副大臣・政務官への任命】

自民党の志の高い先生方をもってすれば、今回の不信任案を、まさか否決されるなんてことはないと思いますが、万が一否決された時のことを想定し、予め聞いておきますので、岸田総理、その場で頷いてお答えください。

「(明日にも行うと言われている)内閣改造人事では、新任はもちろん、続投の大臣・副大臣・政務官も含め、パーティー券収入が不記載の方は1人もいないと断言できますか。」

キックバックの不記載だけでなく、そもそもパーティー収入を派閥に納めず議員側にプールするようなケースも含め、徹底調査してから人事をしますか。」

(調査しないと内閣改造から3日後に大臣辞任となったリクルート事件の竹下総理と同じになりかねないのでご注意ください。)

【安倍派の問題ではなく、岸田内閣の政治責任】

内閣改造時には「安倍派を外す。」ということが報道されていますが、安倍派だけを悪者にして責任をとらせても、問題は解決しません。今回の問題は安倍派だけの問題ではありません。自民党の問題です。

岸田派もパーティー券収入の不記載があることが明らかになりました。その内容を調査、公開し、不記載をしていた時期の派閥のトップとして責任はとられますか。」

岸田政権においては、既に11名の大臣、副大臣、政務官、首相秘書官が不祥事により辞任をしました。これ以上、政務三役を交代させても、根本的な問題の解決にならないのは明らかです。根本的な解決のためには、任命権者である岸田総理が金権政治の責任をとり内閣総辞職をすべきではないでしょうか。」

【官房長官】

昨日の松野官房長官不信任案は自民党により否決されました。

それなのに松野官房長官を早ければ明日にも更迭すると報道されています。支離滅裂です。不信任案を否決した理由は何なののでしょうか。そして更迭する理由は何なののでしょうか。」もし、不信任案を否決した松野長官を更迭するのであれば、総理は国民に対し、真摯に説明をすべきです。

【最後に】

今臨時国会の冒頭、総理はこうおっしゃられました。「今、我々は再び歴史の転換点に立ってます。...この国会が100年後に大きなうねりを生み出した、そのように後世から評価されるよう、共に挑戦しようじゃありませんか。」私も今、同じ気持ちを持っています。

100年後も後世から評価されるよう、金で動く政治をやめましょう。

「予算配分は金次第、政策も金次第。」「マネー、マネー、マネー」

自民党の先生方に問いたいのは、「地獄の沙汰は金次第」のような政治が、国民のためになるのでしょうか。岸田総理の口癖でもある「明日は今日よりもよくなる」と信じている国民のためになるのでしょうか。

政治家になった時の高い志を思い出し、少しでも今回の事件に対する反省をしているのであれば、まずはその**第一歩のケジメとして自らの覚悟で賛成票を投じていただきたい**と思います。

ご清聴ありがとうございました。